

「人権」と「安全」のジレンマを解消し、現場を変える。

身体拘束最小化のための スタッフ支援と多職種連携のあり方

【2026年度診療報酬改定対応】

2026年診療報酬改訂では、身体拘束最小化の体制整備に加え、実績が求められます。改めて、看護職には患者・利用者の人権、安全と尊厳を守る視点とその実践が問われています。

今回は、身体拘束最小化の実践例、成功事例を取り上げ、スタッフ支援、多職種連携のあり方のヒントをご紹介します。また、グループワークによる事例検討、意見交換による地域交流も行います。 質疑応答の時間を設け各施設からのご相談もお受けします！



開催概要

■日時

2026年11月7日(土)
13:00～16:30 (受付 12:30～)

■場所

聖隷三方原病院 救急棟3階 大ホール
※患者用駐車場をご利用ください

■対象

看護管理者、看護管理に興味のある方

■参加費

1,000円 (当日現金払い)
※お釣りのないようご協力ください

■定員

80名

■参考図書

「身体拘束最小化グッド・プラクティス」(照林社)



講師紹介



老人看護専門看護師
佐藤 晶子 氏

(聖隷三方原病院 専門・認定看護室看護課長)

【プロフィール】

自病棟での身体拘束ゼロ達成を主導し、現在は病院全体の身体拘束最小化チームを牽引。現場のジレンマに寄り添うスタッフ支援と多職種連携の実践において、全国で多数の講演や執筆活動を行っている。

お申し込み方法

右記QRコードにてお申し込みください。
エントリーされた方はみなさん受講が可能です
受講の可否の連絡は致しません



申込用QR

【お問い合わせ先】

聖隷三方原病院認定看護管理者教育
課程 (担当：山田)
TEL: 053-436-1251
Mail: yamada-h@sis.seirei.or.jp